

2021年度 自治体学会事業報告（案）

I 第35回自治体学会大会 on the WEB 2021の開催

第35回自治体学会大会は、COVID-19（2019年型コロナウイルス感染症）が蔓延している状況を考慮し、開催準備を進めていた川崎市現地での開催を見合わせ、第34回大会に引き続き、WEB開催とした。

そのため、川崎市によって企画検討されていた「第36回全国自治体政策研究交流会議」は中止となり、政策研究交流会議のあとに行われていた「情報交換会」も取りやめとなった。

今回のWEB大会は、昨年度の経験を活かし、企画内容は、現地開催で予定していた内容を可能な限り実施することに努め、分科会と研究発表セッションを3日間にわたって開催することとした。3日間のWEB大会開催にあたっては、地元企画の運営をはじめ、川崎市には多大なご協力をいただいた。

開催概要等は下記の通りである。

1 開催概要

- (1) 日時
 - 1日目 2021年8月21日（土） 9:25～17:00
 - 2日目 2021年8月22日（日） 9:00～17:10
 - 3日目 2021年10月9日（土） 9:00～17:00
- (2) 会場 Zoomを使用した大会
- (3) テーマ
 - 1日目 共通テーマ「災害・危機対応」
 - 2日目 多様なテーマ「E B P M、スモール・イズ・ビューティフル？、人権、認知症政策」
 - 3日目 共通テーマ「行政組織・職員論」
- (4) 参加者 約270人

大会では、分科会、研究発表セッション、総会報告・自治体学会賞発表・学術問題検討委員会報告を実施した。

2 大会内容の概要

8月21日（土）

- 1) 分科会1 (9:30～11:30)
 - テーマ 「東日本大震災から10年、その成果と課題を検証する」
- 2) 分科会2 (12:30～14:30)
 - テーマ 「災害時の情報把握・情報処理・情報発信について考える」
- 3) 分科会3（地元企画） (14:40～16:40)
 - テーマ 「新型コロナウイルス感染症と都市・コミュニティ・市民の暮らし」
- 4) 所感～分科会を聞いて (16:40～17:00)
 - 金井利之（自治体学会理事長）

8月22日(日)

Zoom1

- 1) 研究発表セッションA (9:05~12:10) 発表事例7件
- 2) 分科会4 (13:00~15:00)
テーマ 「自治体政策とEBPM~政策と科学の連携~」
- 3) 分科会5 (15:10~17:10)
テーマ 「スモール・イズ・ビューティフル?~「小規模・分散・ローカル」な地域の持続可能性~」

Zoom2

- 1) 研究発表セッションB (9:05~12:10) 発表事例7件
- 2) 分科会6 (13:00~15:00)
テーマ 「人権から考えよう! 「誰一人取り残さない」地域と自治体」
- 3) 分科会7(公募企画1) (15:10~17:10)
テーマ 「住民主体の認知症政策を実現する認知症条例へ向けて」

10月9日(土)

- 1) 総会報告、学会賞発表 (9:05~9:35)
学術問題検討委員会報告
総会報告 事務局
学会賞発表 国吉直行・学会賞委員長
・田村明まちづくり賞:1件、研究論文賞:1件、自治体学研究奨励賞:1件
※受賞者はⅢの3で紹介。
学術問題検討委員会報告 土山希美枝委員長
- 2) 分科会8 (9:40~11:40)
テーマ 「人事評価制度運用の今、そして未来への期待
~義務化から5年を経て、何を得、何を目指すのか~」
- 3) 分科会9 (12:30~14:30)
テーマ 「自治体の専門性を考える~これからの地域づくりの要となる専門職と一般職との関係~」
- 4) 分科会10(公募企画2) (14:40~16:40)
テーマ 「まちづくりの「発想」~SDGs時代における企画調整~」
- 5) 所感~分科会を聞いて
西尾隆(国際基督教大学特任教授)

3 プレセミナーの企画と実施

第35回自治体学会大会の開催に向けた新たな試みとして、分科会の内容を、より意義深いものにするため、事前の勉強会的な位置づけで、プレセミナーを企画し、下記のとおり開催した。

- 分科会1 part1 6月11日(金) part2 7月9日(金)
分科会5 6月20日(日)
分科会6 6月12日(土)

4 大会の詳細

大会の詳細は、学会誌 35-1 号（2021 年 12 月 15 日発行）に記載。

II 総会・評議員会・理事会・部会等の開催

学会の運営等に関して各会議を開催した。

1 総会

学会の大会が WEB 大会になったことにともない、評議員会での細則改正、総会開催方法の変更の承認を得て、2021 年 9 月 16 日（木）～10 月 7 日（木）の期間で、書面による会議で開催した。

2020 年度事業報告案、2020 年度決算報告案、中期事業計画案、2021 年度事業計画案、2021 年度収支予算案、基金の設置について（案）については、会員の意見に対する文書による回答をふまえ、提案された全議案について承認された。なお、決算については、監事より概ね適切に処理されているが、改善を要する事項として、事務局体制、学会資料の保管、契約方法のあり方、大会参加費の減免のあり方について指摘があり、また、日本学術会議会員任命拒否問題への対応についても監事としての意見があった。

また、昨年度の総会で示された「中期事業計画（素案）」をもとに、引き続き総務部会が中心となってまとめた「中期事業計画（案）」について、上述のとおり、参加者の承認を得て、決定された。

会員の意見交換の機会を設けるため、期間内の 9 月 19 日（日）に Zoom 会議を行った。

基金の設置について（案）が承認されたことにより、コロナ禍後対策基金を設置した。

2 評議員会

(1) 第 1 回評議員会

COVID-19（2019 年型コロナウイルス感染症）の拡大防止のため、2021 年 9 月 5 日（日）に、Zoom 会議により開催した。委任状 8 名を含め、44 名の参加を得て、議案質疑、意見交換を行った。

2020 年度事業報告案、2020 年度決算報告案、中期事業計画案、2021 年度事業計画案、2021 年度収支予算案、基金の設置について（案）は、原案のとおり総会に提案されることになった。また、細則の改正と総会開催方法の変更については承認された。

監査意見としては、学会資料の保管方法の検討、基金のあり方等への意見に加え、日本学術会議会員任命拒否問題への対応についても指摘があった。

中期事業計画案については、費用の削減案については具体的に記しても良いのではないかと、デジタル化を進めることは良い、デジタル化は会員サービスの観点からの比較も必要ではないかと、中期事業計画をフォローする体制が必要ではないかなど、貴重な意見があった。

また、学術問題検討委員会報告については、土山委員長から報告書の内容について報告がなされ、活発な意見交換が行われた。

(2) 第 2 回評議員会

COVID-19（2019 年型コロナウイルス感染症）の拡大が続いている状況をふまえ、2022 年 3 月 13 日（日）に Zoom 会議により開催した。

議題は、2021 年度事業報告案、2021 年度決算報告案（執行状況）、2022 年度事業計画案、2022 年度収支予算案について、協議、検討した。2022 年度くまもと大会の企画案等について報告した。また、総会時の課題について、協議・検討した。

3 理事会

(1) 第1回理事会

2021年8月1日(日)に、Zoom会議により開催した。

総会提出議案について協議、検討した。学術問題検討委員会及び各部会から報告がなされた。また、「コロナ禍後の学会活動の検討」の枠組みが提案された。

(2) 第2回理事会

2022年2月13日(日)に、Zoom会議により開催した。

評議員会提出議案について協議、検討した。各部会から報告がなされた。また、総会時の課題について協議・検討した。

(3) メールによる会議の実施

随時メールによる会議を実施し、必要事項を審議し決定した。

主なものとして、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大を考慮し、2021年度大会の開催について、プランB検討班による検討をふまえ、川崎市での現地開催ではなく、WEB大会による開催を決定した。

(4) プランB検討班

プランB検討班は、2021年5月10日(月)に、2021年度大会の持ち方について、Zoom会議で、検討協議した。

(5) コロナ禍後検討班

「自治体学会DX戦略検討の論点」を検討整理し、第1回評議員会で紹介した。

4 企画部会

川崎大会の開催内容を検討するとともに、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大を考慮し、大会の持ち方について、協議、検討した。WEB大会と決定されたことにより、その開催内容について協議、検討した。新たな試みとして、プレセミナーを企画、実施した。

この間、プランB検討班との連携を図りながら進めた。

- | | | | |
|---|---------------|-----------|--------|
| ① | 2021年5月15日(土) | 於: Zoom会議 | |
| ② | 2021年6月1日(火) | 於: Zoom会議 | |
| ③ | 2021年6月24日(木) | 於: Zoom会議 | |
| ④ | 2021年8月15日(日) | 於: Zoom会議 | リハーサル |
| ⑤ | 2021年8月19日(木) | 於: Zoom会議 | 兼リハーサル |
| ⑥ | 2021年10月3日(日) | 於: Zoom会議 | 兼リハーサル |

プレセミナー

- | | | |
|---|---------------|-------------|
| ① | 2021年6月11日(金) | 分科会1: part1 |
| ② | 2021年7月9日(金) | 分科会1: part2 |
| ③ | 2021年6月20日(日) | 分科会5 |
| ④ | 2021年6月12日(土) | 分科会6 |

2022年「くまもと大会」の企画内容についての協議、検討。

- | | | |
|---|----------------|-----------|
| ① | 2021年11月30日(火) | 於: Zoom会議 |
| ② | 2021年12月12日(日) | 於: Zoom会議 |

- ③ 2021年12月20日(月) 於: Zoom会議
- ④ 2022年1月8日(土) 於: Zoom会議
- ⑤ 2022年1月22日(土) 於: Zoom会議
- ⑥ 2022年2月11日(金) 於: Zoom会議
- ⑦ 2022年3月27日(日) 於: 熊本市、Zoom会議併用

参考(川崎大会の企画内容について協議、検討。)

- ① 2020年11月28日(土) 於: Zoom会議
- ② 2020年12月12日(土) 於: Zoom会議
- ③ 2021年1月23日(土) 於: Zoom会議
- ④ 2021年2月23日(火) 於: Zoom会議
- ⑤ 2021年3月7日(日) 於: Zoom会議

5 編集部会

学会誌の発行内容について協議、検討し、編集した。

- ① 2021年7月10日(土) 於: Zoom会議
- ② 2021年11月4日(木) 於: Zoom会議
- ③ 2021年11月25日(木) 於: Zoom会議
- ④ 2021年12月6日(月) 於: Zoom会議

6 地域支援部会

新規の部会メンバーにより、部会の役割やオンラインを用いた活動方向について、メーリングリストやZoomを用いて協議した。

- ① 2021年5月8日(土) 於: Zoom会議

7 研究支援部会

投稿論文に関して、投稿の促進を行うとともに、査読・修正・採否・学会誌での取扱い等について、メールを活用しながら審議を進めた。自治体学掲載論文について、著者の理解を得て、J-STAGEへの登録を引き続き進めた。前期応募論文の審査を進めるにあたり、Zoom会議で協議をした。

- ① 2021年6月12日(土) Zoom会議
- ② 2021年8月21日(土)～9月9日(木) 査読結果をもとに論文審査。前期掲載論文の決定。
12件応募(再5件)。5件掲載。
- ③ 2022年1月9日(日)～22日(土) 査読結果をもとに論文審査。後期掲載論文の決定。
12件応募(再3件)。3件掲載。

8 総務部会

資料作成、経理等の学会事務をサポートするとともに、会員管理、メーリングリスト・ホームページ管理の在り方について検討を行った。メーリングリストについては2021年4月に更新した。2019年度総会における決算監査意見に基づき、総務部会が中心となってまとめた「監査意見及び学会運営課題への対応策について」を作成し、その一部である「中期事業計画(案)」について協議、検討した。学術問題検討委員会の

活動のサポートを行った。

また、総会、評議員会、理事会に同席し、議事録を作成した。

なお、新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にある中で、引き続き、大会の開催方法及び総会の持ち方について、プランB検討班との連携を図りながら、また中期事業計画案について、Zoom会議で協議、検討をした。

協議・検討に際しては、随時メーリングリストを用いて打合せを進めた。

9 学会賞委員会

第11回自治体学会賞の審査を行い、表彰者を決定した。

- ① 2021年6月13日（日） 於：Zoom会議
- ② 2021年7月18日（日） 於：Zoom会議

10 学術問題検討委員会

2020年度の臨時評議員会の決定を受け設置された学術問題検討委員会を開催し、日本学術会議会員任命拒否問題から見えてきた論点について、会員の多様な視点を共有する場として、「円卓会議」という手法を取り入れ、3回の円卓会議で、登壇者の問題提起などをもとに議論された内容を可視化しながら、共有された認識や自治体学会の根幹にある役割などを報告書としてまとめた。

- ① 2021年4月18日（日） 於：Zoom会議
- ② 2021年4月24日（土） 於：Zoom会議
- ③ 2021年5月9日（日） 於：Zoom会議
- ④ 2021年6月25日（金） 於：Zoom会議
- ⑤ 2021年6月26日（土） 於：Zoom会議
- ⑥ 2021年7月4日（日） 於：Zoom会議 ※円卓会議第3回
- ⑦ 2021年7月27日（火） 於：Zoom会議

※ 円卓会議 第1回 2021年1月31日（日）
第2回 2021年3月28日（日）

III 実施事業

1 自治体学会大会 on the WEB 2021 の開催

再掲（Iを参照）

2 学会誌の発行

- ① 学会誌 35-1号、1,600部を発行し（2021年12月）、全会員及び関係機関等に配付した。
掲載内容：第35回自治体学会大会 on the WEB 2021における、分科会、研究発表セッション、プレセミナー等の報告。自治体学会賞、総会等の報告。学術問題検討委員会の報告。研究論文、研究ノートに掲載。会員著書の書評等。
- ② 学会誌 35-2号、1,500部を発行し（2022年3月）、全会員及び関係機関等に配付した。
掲載内容：特集「コロナ禍から考える自治」、特別寄稿「クローズアップ自治体学」他。新入会員の紹介。研究論文、研究ノートに掲載。会員著書の書評等。

3 学会賞の授与

2021年10月9日（土）に開催した「第35回自治体学会大会 on the WEB2021」の3日目において、学会賞を下記の方々に授与することを発表した。なお、田村明まちづくり賞については、12月2日（木）に現地で表彰式を行った。

○田村明まちづくり賞

*受賞者：川越町並み委員会、川越蔵の会、都市景観課など川越市、川越商工会議所、専門家の歴代の方々

対象活動：「川越市における地域住民、専門家、行政などの連携した、『川越町並み委員会』を中心とした約40年の継続的まちづくり」

○研究論文賞

*受賞者：渡部朋宏

対象著書：住民論 統治の対象としての住民から自治の主体としての住民へ

○自治体学研究奨励賞

*受賞者：鈴木栄之心

対象論文：公的介護保険制度における市町村の保険料設定行動－「介護保険財政データベース」の構築による実証分析

4 研究活動への支援

会員の研究活動への支援（投稿論文の査読）。

○投稿論文の査読を実施し、掲載論文を決定した。

前期分（35-1号掲載） 投稿数 12件 掲載論文（研究論文2件 研究ノート3件）

後期分（35-2号掲載） 投稿数 12件 掲載論文（研究論文2件 研究ノート1件）

5 情報の収集と発信

○ホームページによる情報提供

事業に関する情報発信を随時行い、地域活動支援事業については、会員からの要望を受けてトップページに掲載した。

○情報の収集・提供

学会員の提供情報に基づき最新情報の収集・提供をした。

日本学術会議が公表する情報を会員に提供した。

○会員相互の情報交流

メーリングリストを運用し、会員間の情報交換を進めた。メーリングリストのサービス使用期限が2021年6月末日までなので、代替え手段を検討し、2021年度当初から新たなメーリングリストに更新した。

8 地域活動への支援

① 2021年度 東海自治体学研究会「地域振興の状況と今後のあり方」

*申請者：東海自治体学研究会（承諾評議員：加藤洋子、中野有美）

*日時・会場：2021年7月3日（土）：ウインクあいち、一般参加はZoom会議

- ② 政策法務・M I E オンライン勉強会「コロナ禍における政策法務」
 - *申請者：政策法務・M I E （承諾評議員：加藤洋子）
 - *日時・会場：2021年9月18日（土） オンライン方式による
- ③ オンライン研究会「ポストコロナの自治」
 - *申請者：北海道自治体学会（承諾評議員：安田あきの）
 - *日時・会場：2021年11月3日（水） 以後、毎月1回開催（全5回）
Web会議での実施。

IV 事務局運営

2014年4月1日から、東京都千代田区神田錦町2-1に事務局を移転し、直営で学会事務を担っている。その後、事務所は、2019年6月1日から、東京都千代田区神田司町2-19 司3331 202号室に移転、さらに、2020年4月15日から、東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8Fに移転し、現在に至っている。

事務局には、専従者1名（勤務日年間80日間程度）を含む3名を置き、総務部会員の協力を得て理事会との連携協力のもと事務局を運営した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止をふまえ、会議については、Zoom 会議を活用した。

事務局の具体的な事務内容は、会員管理及び会計処理のほか、各部会の事務処理、総会・大会開催時の事務処理等である。